

教 育 学 概 論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 次の(1)(2)の設問について、200字以内で解答しなさい。(各20点)
- (1) 小学校における「外国語活動」導入のねらいと取り組み方について述べなさい。
- (2) 江戸時代の寺子屋での教育と、近代以降の学校教育を比較し、教育方法についてどのような点が異なるのか述べなさい。
2. 下記の(1)～(10)の文を読み、正しいものに○、正しくないものに×を記入しなさい。(各2点)
- (1) アメリカのヴァージニア州教育委員会がキャズウェル等の協力を得て作成した教育計画はコア・カリキュラムの代表的なものである。カリキュラムはスコープ(教育内容の選択)とシーケンス(選択された内容の配列)の2軸の組み合わせを基に編成された。
- (2) 栄養教諭は児童の栄養の指導及び管理をつかさどることが主な職務であるが、家庭科及び保健体育科等における食に関する指導領域については教科担任に代わって部分的に授業を受け持つことができる。
- (3) 野口援太郎は1917(大正6)年に成城小学校を創設し、児童中心主義の教育論を実践に移した。その実践は大正期の新教育運動に大きな影響を与えた。
- (4) 発達障害者支援法によれば、「発達障害」は、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する心理機能の障害ととらえられる。
- (5) 1948(昭和23)年の国際連合総会で採択された「世界人権宣言」は、国際的な人権保障に関する基準を明らかにした。宣言は、人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義、及び平和の基礎であるとした。
- (6) 学校評議員の置かれている学校を、コミュニティスクールと呼ぶ。
- (7) 1998(平成10)年に、千葉大学は高等学校を卒業せずに17歳で大学進学を認める飛び入学を開始した。
- (8) 中学校や高等学校の学習指導要領では著作権について取り扱うことになっている。

(9) 1885(明治18)年、初代文部大臣に榎本武揚が就任した。

(10) シュタイナー学校では、主要教科については毎朝2時間、3~4週間を1教科に集中して授業を行い、これはエポック授業と呼ばれる。

3. の中から適切が語句を選んで()に記号を入れ、下記の文章を完成させなさい。(各2点)

A.

高等教育が担う機能は多様であるが、大学については「教育」、「()」、「社会への貢献」の3つがあると考えられる。これは我が国の()の規定にも反映されている。1810年にベルリン大学を創設した()は、大学とは前者の2つの機能を統合したものと定義した。20世紀に大学への進学が急増し、トロウが分類したエリート型から()へと高等教育システムが変貌する過程で、3つ目の機能を強調したのはアメリカのボックである。彼は、1982年の著書()で、大学は社会との積極的な関わりをもつべきという考え方を示した。

イ. 学問 ロ. 研究 ハ. 学校教育法 ニ. 社会教育法 ホ. アルテンシュタイン
ヘ. フンボルト ト. 『学問の自由の歴史』 チ. 『象牙の塔を越えて』
リ. ユニバーサル型 ヌ. マス型

B.

生の哲学を打ち立て、教育目的の妥当性を問う歴史研究の重要性を唱えた()の影響を受け、()は、教育とは客観的精神の表れである文化との接触により、個人が真の価値観の形成を自ら行うよう促すことであるとし、その主著『生の形式』において理想的な人間の()つの類型を述べた。彼らの理論的立場は、()とされる。

イ. パウルゼン ロ. ディルタイ ハ. シュブランガー ニ. ケルシェンシュタイナー
ホ. 6 ヘ. 8 ト. 教育哲学 チ. 文化教育学

4. 次に掲げる教育基本法の条文について()内に適切な語を入れなさい。(各2点)

(1) 国民は、その保護する子に、別の法律で定めるところにより、()を受けさせる義務を負う。

(2) 学校、家庭及び()その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

(3) 父母その他の保護者は、子の教育について()を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

5. 次の(1)～(6)の中から4つを選択し、簡潔に説明しなさい。選択した番号は、解答用紙に記入すること(5つ以上選択した場合は無効とする。)(各4点)

(1) 中一ギャップ

(2) 中高一貫教育

(3) 高等学校卒業程度認定試験

(4) 持続発展教育(ESD)

(5) アドバンストプレイスメント(AP)

(6) ティーム・ティーチング(TT)